



青柳園だより

2026年
3月号
文京区立青柳幼稚園

成長に目を向けて

園長 米澤 千秋



先月は東京もしっかりとした積雪となり、子どもたちは園庭に残った雪景色に心弾ませていました。かき氷作りや氷の型抜きなどをして遊んだり、虫眼鏡で雪の結晶を見たりするなど、冷たさや不思議さなどを体感して楽しみました。

季節はもう春。今年度最後の月となりました。年少もも組は年長への進級に、年長ゆり組は1年生への就学に向かい、様々な活動に取り組んでいます。

みんなのために ～当番・誕生会司会の引継ぎ～

これまでゆり組が担っていた“みんなのため”にしていた役割をもも組が引き継いでいます。ゆり組が、自分が経験してきた中で気付いたことを自分の言葉で、丁寧にもも組に伝えています。もも組は、それを真剣に聞いたり、一緒にやってみたりしています。

どちらも大きくなりました！嬉しい姿がたくさん見られます。



相手を思って ～幼稚園で遊ぼう～

来年度入園予定の友達を招待した「幼稚園で遊ぼう」の会。どのようにしたら喜んでもらえるか、招待する相手の気持ちをよく考えて、もも組が準備を進めました。「小さい子どもたちは可愛いのが好きだと思うから、あおやぎちゃんの歌を歌おうよ」「プレゼントもあげたいな」など、とても意欲的でした。そして当日も、相手の顔を覗き込んで、目線を合わせてやりたいことを聞いたり、一緒に遊んだりしていました。



手作りバッグをプレゼント

帰り際は教師が促すこともなく、自然とみんなで園庭まで見送りに。「また来てね！」「待ってるね！」「一緒に遊ぼうね！」と姿が見えなくなるまで手を振っていました。優しい年長さんとしてのスタートが、今から楽しみです。

昨年度末にもお伝えしましたが、幼稚園生活の中で“大きくなる”ということは、人との関わりの中で、嬉しい、悲しい、楽しい、悔しいなど様々な感情体験をし、新たな自分に出会い、自分の力を自分で伸ばしていくことではないかと思えます。そのために、身近な大人が支え、見守ることが大切です。進級・就学に向かうこの時期に、子どもたちの成長に目を向け、子どもたち自身が自分の成長を実感できるよう「大きくなって嬉しいね」と共感し、さらなる成長や様々なことに主体的に取り組む意欲につなげていきましょう。

保護者の皆様には様々なご協力をいただきまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。地域の皆様、本園へのご支援・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。今後とも、お力添えをいただけますようお願いいたします。

リニューアルしました

1階から2階に上がる階段の中間にある踊り場のカーペットが新しくなりました。壁やカーテンと同系色になり、空間が少し広く感じられ、明るい雰囲気になりました。

園舎内に入られる際に、ぜひご注目ください!!

